

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぶだより

私たちのお店

あおぞら市

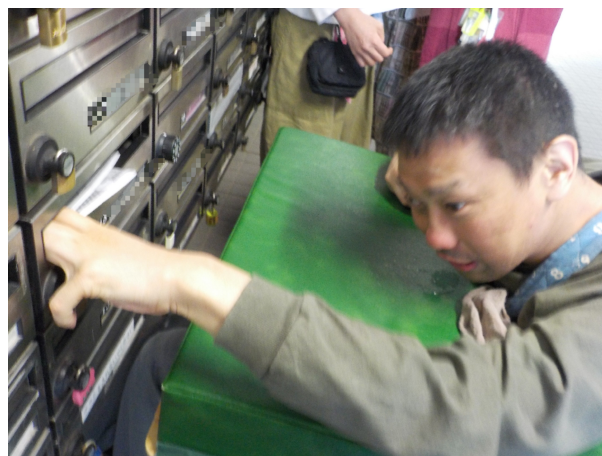
NO. 252 責任者
青山 茂次郎



11月8日(水)に第4回あおぞら市を開催しました。回を重ねるごとに開催方法を試行錯誤しています。テントの場所を変えてより近所の方に見てもらえるよう考えてみたり、会計レジの場所を看板に付ける事によってわかりやすくし、混雑した場合に備えて配慮しました。毎度取り組んでいる近所の方へのビラ配りや、近所の店舗へのポスター依頼は継続し、地域と繋がる機

会を増やせるようにと活動しています。当日は家族会によるバザーも開催され、とてもアットホームで良い雰囲気の中、販売することができました。

足を運んで下さったお客様の方々ありがとうございました。まだまだ改善の余地はありますが、少しずつ良くなってきています。今後も開催する時はどうぞよろしくお願いいたします。



千里金蘭大学 今年も出店！！ 『百花繚蘭祭』

11月4日、5日と今年も、千里金蘭大学の大学祭『百花繚蘭祭』にお声を掛けていただき、授産製品、おもちゃつり、スマートボールを出店させていただきました。おもちゃつりとスマートボールは、たくさんの子供たちが遊びにきてくれて大盛況でした。また、その横での授産製品販売では実際に手に取って商品

を見てもらえたり、あいほうぶ吹田のことを知ってもらうきっかけにもなりました。地域とのつながりを大切に取り組んできた私たちにとっても、大変有難く、大切な交流の場所のひとつとなっています。



柿狩りに行きました

11月15日に所外活動で柿狩りに行ってきました。11月に入っていたので、寒さが心配でしたが、当日は天気にも恵まれてぽかぽかと暖かく、絶好の柿狩り日和となりました。どれにしようかな～とたくさん実った柿をじっくりと見て選ぶ利用者の姿がありました。いぎ、木から柿を取ろうとすると、はじめはうまく採れませんでした。



たが、四苦八苦しなながら、職員と一緒に何とか柿を手にし、利用者も笑顔がこぼれていました。採ってきた柿はお土産用と班用に持って帰り、後日、調理実習で柿ジャムとホットケーキを作った楽しみました。柿を鍋に入れ、弱火でグツグツ煮ると調理室に甘い柿の香りが広がっていました。ホットケーキにたっぷりとジャムを塗り、「甘くておいしい」とみんなで秋の味覚を楽しむことができました。



あいほうぷの花壇づくり

あいほうぷ吹田では花壇の管理を施設の利用者全体で行っています。10月に年に2回の植え替え時期が来ました。まだ綺麗に咲いている花もあり、地域の方にお配りしようと事前にお知らせの看板を利用者と一緒に作成しました。当日は「看板を見た」「少し遅くなったけどまだお花ありますか？」と数名の方が来られました。「いつも通っ



ています。綺麗にしていますね」と言ってくれる方もいて、地域の方からのありがたいお声に利用者の皆さんも職員も大変嬉しく感じています。花の配布のあとに新しい花の植え替えも行いました。去年とは花壇のレイアウトを変えてアリッサムという白い花を手前に咲かせ、その奥をパンジー、ビオラ、キンギョソウ、ストックで色鮮やかな花壇を計画しました。あいほうぷの花壇の成長具合を是非見に来ていただければと思います。



小高さんと一緒に考えよう



師走に入り、今年の締めくくりの時期になりました。小高さんが今回選んだトピックは、年末らしく、「2023年のSDGs達成度ランキング」です。日本のSDGsの達成状況等を見ていきます。

「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」は世界各

国のSDGsの達成度を評価しました。その報告書によると日本のSDGs達成度は166か国中21位で前年の19位から2ランク下がったようです。17の目標のうち、ジェンダー平等や気候変動対策等5つの項目で評価が低かったようです。

皆さんの元気の源となれるように

「給食には元気になるチカラがあるね」利用者さんのご家族からいただいた嬉しい言葉です。さつき福祉会では施設直営での給食を長年続けています。栄養をとるだけでなく「心と身体の栄養」給食実践を発達保障実践のひとつと捉え大切にしてきました。給食でみんなと同じものを食べることでこころのつながり安心感や共感関係が生まれます。家庭では不足しがちな栄養素が摂れるように日々の献立を作成。季節の香りや季節の味が感じられるように旬の食材を取り入れています。夕焼けの綺麗な時期には人参と鮭と一緒に炊き込んだ夕焼け色の夕焼けごはんをほっこり。年明けはご馳走で疲れた胃腸を癒す年明けうどんなど独自のメニュー

ちなみに、1位は3年連続でフィンランドで、その後にスウェーデン、デンマークと北欧の国々が居並びます。

「深刻な課題がある」と評価された目標の中で「ジェンダー平等を実現しよう」は国会議員の女性比率の低さと男女賃金格差が特に問題とされました。

また、目標13の「気候変動に具体的な対策を」は、化石燃料の使用に伴う二酸化炭素の排出量の多さ等が原因で低評価に甘んじています。

小高さんもこの日本の状況を改めて認識し、自分達ができる事を見つけて、1人ひとりが「がんばる」しかない、との事でした。

もたくさん取り入れています。また食は楽しみのひとつでもあります。わくわくする企画としては「全国味めぐり」。外食や外出の出来ないコロナ禍時期にスタートしました。リクエストメニューではみんなの思いをかたちに。バイキングではいろんなものを少しずつ。「食べることは生きること」障害のある人にとっては日々の給食提供が重要な役割を果たしていると感じています。直営給食だからできることとして、ひとりひとりに寄り添った食事提供をこれからも続けたいと思います。



メニューを前に期待もふくらみます

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。当日午前10時までのご予約で13時以降のご利用ができます。原則1時間に1組。
*ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます(土日9時~22時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

師走に入り、今年も余すところ、一ヶ月になりました。皆さんの今年の印象に残った事は何でしょうか。

暗い話題だと、ジャーニズの性加害問題を上げる人は少なからず、おられると思います。明るい話題だと、メジャーリーグの大谷翔平選手の活躍や阪神タイガースの三十八年ぶりの優勝が印象的な人が多いのではないかと思います。

あいほうぶ吹田は今年から指定管理者制度に移行し、地域にもっと溶け込み、皆様のニーズに答える事が求められるようになりました。

大谷翔平選手は「野球選手として仕事をしている感覚はなく、頑張りたいなと思っている事を頑張っているだけ。」と言っておられました。私達も積極的に地域に根差した施設づくりを頑張りたいと思います。



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>